

WS「地球の姿」3

この単元の目的 次の内容ができるようになる

- ・地球上にいる人間が身の回りを測定して地球の大きさや形を求める方法を説明できる。
- ・地球の層構造は成分や密度、流動性の違いがある不連続なものであることを説明できる。
- ・プレートが動くしくみと動いた結果起こることを説明できる。

この時間の目的 次の内容ができるようになる

↓自己チェック できたと思ったら塗りつぶす

- プレートが動くしくみと動いた結果起こることを説明できる。

キーワード [これが分かると全体像も説明できる]

移動するリソスフェア → 生物

プレートの発散と収束 → 物理

補足 [関連知識]

生物の分布、海岸線の比較 → 生物、地理

用語と数字 [受験に必須、説明に便利。何を指しているかは教科書参照]

プレート、中央海嶺、プレートの発散境界、プレートの収束境界、トランスフォーム断層、プレートのすれ違い境界、プレートテクトニクス、造山帯、造山運動、付加体

キーワードをつなぐストーリー

1. プレート

リソスフェアはマントルから新しく作られ、古いものがマントルに消えていく

プレート	中央海嶺	海溝
	大地溝帯	山脈
	発散境界	収束境界

発散境界の付近＝熱い＝軟らかいアセノスフェア

発散境界から離れる＝冷える＝硬いリソスフェアになる 厚みが増える

(海底の岩石の地磁気のしま模様)

収束境界 海洋プレート(密度大)が大陸プレート(密度小)の下に沈み込む→マントルに融ける

(震源の分布)

大陸プレート(密度小)同士が衝突する→隆起する→山脈ができる

プレート同士がすれ違う→発散も収束もしない サンアンドレアス断層

プレートの動き＝プレートテクトニクス

2. 造山運動

山脈を作る作用

(1)大陸プレート同士の衝突(せり上がり) アルプス山脈・ヒマラヤ山脈

(2)大陸プレートと海洋プレートの衝突(なすり付け) ロッキー山脈・アンデス山脈



引用：第一学習社教科書

課題1. 大陸プレートは数十億年前に形成されたものが存在するが、海洋プレートは最古のものでも1億8千万年前である。その理由を説明しなさい。

課題2. リソスフェアとプレートは何が違うのか、説明しなさい。

課題3. 上の世界地図に以下の山脈等の位置を描きなさい。

アルプス山脈、ヒマラヤ山脈、ロッキー山脈、アンデス山脈、サンアンドレアス断層、大地溝帯（アフリカ大陸）

アンケート。

アンケート項目を選んで回答してください。（任意）

① わかりにくかったこと疑問に思ったこと ② 興味を持ったこと ③ その他

部組番号

氏名

ワークシート点 6 5 4 3 2 1